

町内の放射線量測定結果



除染作業の様子

の実施基準を地上5センチと厳しいものに設定して独自調査を実施し、局所的に高い放射線量が測定される箇所と範囲を調査しました。

その結果、学校・幼稚園・保育所の軒下や側溝などで、低減対策基準を超える箇所が確認されたため、直ちに除染作業を実施して放射線量の低減を図りました。その結果、基準値を超える放射線量は検出されなくなりました。

これからの対応

今後は調査対象施設を拡大して調査し、1時間当たり1マイ

クロシーベルト以上の放射線量が確認された場合は、効率的で効果的な低減対策を実施していきます。

また直ちに低減対策を取れない場合、施設と協議し管理者などの判断により立ち入り禁止などの措置を行う場合があります。施設利用の際には、ご不便をお掛けする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

測定と除染結果から

これまでの測定と除染結果から、現段階では通常の日常生活や学校生活などを制限する状況にはないと判断しています。

しかし、雨どいや軒下など雨水の集まる場所、流れの悪い側溝に溜まった泥、草刈りや枝払いなどにより出た草や枝を大量に集積した場所の周辺などでは、周囲に比べ放射線量が高い場合があることが分かっています。

これらの場所には、なるべく近付かないようにしましょう。また気になるようであれば、外出時マスクをする▽屋外での活動後は手や顔を洗い、うがいをする▽土や砂を口に入れないように注意する▽屋内に入るときは、衣服や髪についたほこりを落とす など、日常気を付けていることを行うことで、対応できるものと考えています。

除染作業を実施

町では、学校や幼稚園・保育所など子どもたちが集まる施設を優先して、局所的に放射線量の高い場所の特定作業をきめ細かく進め、除染作業に向けた取り組みを計画的に進めています。

現在までの調査結果から、地上から1メートル、50センチの測定で1時間当たり1マイクロシーベルトを超える施設は確認されていませんが、低減対策（除染作業）

公共施設などの測定結果

単位：マイクロシーベルト/時

測定場所	測定高		
	5センチ	50センチ	1メートル
平泉中学校（校庭）	0.25	0.26	0.24
平泉小学校（校庭）	0.29	0.25	0.25
長島小学校（校庭）	0.25	0.24	0.25
二葉きらり園（園庭）	0.29	0.27	0.25
長島保育所（園庭）	0.24	0.24	0.21
平泉駅（駐輪場付近）	0.26	0.25	0.22
中尊寺駐車場（トイレ付近）	0.24	0.20	0.19
毛越寺駐車場（トイレ付近）	0.32	0.29	0.26
志羅山児童館（砂場付近）	0.20	0.23	0.22

測定日は10月17日～18日

町内21行政区定点測定結果

単位：マイクロシーベルト/時

行政区	測定場所	測定高		
		5センチ	50センチ	1メートル
1区	瀬原公民館（神社前）	0.24	0.24	0.22
2区	2区公民館（玄関前）	0.25	0.19	0.18
3区	戸河内コミュニティセンター（グラウンド中央）	0.34	0.32	0.28
4区	4区ふれあいセンター（玄関前）	0.20	0.16	0.15
5区	下達谷公民館（玄関前）	0.21	0.18	0.15
6区	河原商店（十字路付近）	0.24	0.23	0.24
7区	7区公民館（駐車場中央）	0.33	0.30	0.26
8区	第3分団（屯所前）	0.13	0.13	0.12
9区	佐野公民館（玄関前）	0.17	0.16	0.14
10区	祇園公民館（玄関前）	0.30	0.27	0.24
11区	11区公民館（玄関前）	0.24	0.26	0.23
12区	12区公民館（玄関前）	0.21	0.17	0.14
13区	義経堂駐車場（町有地分）	0.27	0.24	0.22
14区	14区公民館（玄関前）	0.40	0.34	0.31
15区	長部地区交流センター（入口付近）	0.17	0.15	0.12
16区	16区公民館（玄関前）	0.21	0.20	0.16
17区	俄坂公民館（玄関前）	0.20	0.18	0.18
18区	18区公民館（玄関前）	0.31	0.23	0.20
19区	コミュニティセンター悠悠（玄関前）	0.11	0.13	0.13
20区	20区コミュニティセンター（玄関前）	0.27	0.23	0.22
21区	21区ふれあいセンター（玄関前）	0.19	0.16	0.15

測定日は10月18日～20日

問い合わせ先…町民福祉課 ☎46-5562

平泉を掘る

1994年（平成6年）に志羅山遺跡の井戸跡の底から竹の筒が出土しました（写真左）。筒の中には小石くらいの鉄カスが500グラムほど入っていました。

長さは33.6センチ、直径5.4センチで、筒は竹のふしを利用した底があり、片方は開いて縁に穴が2箇所あります。使われた年代は12世紀後半です。

竹筒の用途はいろいろ考えられますが、一つの可能性として掛け花入れがあります。供花を入れて門壁やお堂の壁などに掛ける花瓶のようなものです（写真右）。掛け花入れと鑑定した石川県輪島漆芸美術館長の四柳嘉章さんによると「これまでの竹製掛け花入れは広島県福山市の草戸千軒町遺跡で見つかった13世紀のものが最も古いものでしたが、志羅山遺跡の竹容器は

発掘最前線⑩ 重要文化財紹介(その6)―竹容器―

国内最古の掛け花入れかもしれません」と出土した竹筒が貴重なものであることを話していました。



◀志羅山遺跡から出土した竹容器（写真左）/ 当時は掛け花入れとして使われていたのかも（イメージ写真・写真右）

寄稿 ふるさと平泉会から

江東区民まつりで平泉特産品販売と世界文化遺産に決定の平泉観光をPR

「第29回江東区民まつり」が、10月15、16日の2日間、都立木場公園で開催されました。これは「世代をつなぐ心のふれあい」をテーマに、毎年開催される江東区民48万人の最大のお祭りです。

今回は3・11の東日本大震災に対し「がんばろう日本!!」のスローガンを掲げ（写真A）、特に被災地応援コーナーを設置し、リストバンドの販売50円を寄付するなど区民まつり全体で東北地方を応援



（A）「がんばろう日本!!」のスローガンを掲げて被災地を応援



（B）山 区長（右）に記念品を贈る菅原町長

しました。

初日の開会セレモニーには、平泉町から菅原正義町長と千葉多嘉男観光商工課長が出席。開会式後に主催者の江東区・山 孝明区長に、菅原町長から「平泉の世界文化遺産登録」の謝辞と記念品を贈りました（写真B）。

「天気予報は2日間とも悪天候でしたが、初日11時ごろから風雨が上がり、2日間で31万人の来場客があり、江東区ゆかりの全国各地の36自治体による「はるばるパザール」は大変な賑わいでした。また119の協賛会社・団体が



伊東直樹さん
江東区地域振興課長の伊東直樹さんは概要を



橋本隆雄さん
江東区民まつりへ出席し、調印をし、

の修学旅行先に「世界文化遺産の平泉」にするよう推進しています」と語り、今後の両自治体の更なる友好関係強化を強調されました。

平泉町物産展のコーナーは、販売実績が特に良かったのですが、出展・販売の活動を通して、世界遺産・平泉のPR活動も同時に果たしていることを改めて認識しました。

ふるさと平泉会副会長 鈴木喜佐人

地デジ化レスキューカーの巡回訪問

デジサポ岩手の「地デジ化レスキューカー」が町内を巡ります。この巡回訪問では、地デジについての個別相談やその場で受信テストを行います。お気軽にご相談ください。

巡回日…11月7日（月）～11日（金）、28日（月）～12月2日（金）

巡回時間…10:00～16:00

巡回地域…奥州市、平泉町

相談コーナーを奥州市前沢総合庁舎に開設しています。

問い合わせ先…デジサポ岩手相談会グループ ☎019-604-2637